

かほく市介護保険運営協議会令和2年度第3回会議会議録

| | |
|-----------|---------------------|
| 招 集 年 月 日 | 令和2年12月23日(水) |
| 招 集 場 所 | かほく市役所3階 302会議室 |
| 開 会 日 時 | 令和2年12月23日 午後 1時30分 |
| 閉 会 日 時 | 令和2年12月23日 午後 3時10分 |
| 委 員 の 定 数 | 15人 |
| 出 席 委 員 | 12人(うち代理出席1人) |
| 欠 席 委 員 | 3人 |
| 事 務 局 | 9人 |
| 議 事 日 程 | 別紙のとおり |
| 会議に付した議件 | 別紙のとおり |
| 会 議 の 経 過 | 別紙のとおり |

| 会 議 の 経 過 | |
|-----------|---|
| 事務局 | かほく市介護保険運営協議会委員定数15人中12人が出席しているため、かほく市介護保険運営協議会設置要綱第7条第2項の規定により会議の開始を告げる。 |
| 部長 | 開会あいさつ |
| 会長 | 開会あいさつ かほく市介護保険運営協議会要綱第7条第1項の規定により議長に就く。 本日の会議の日程に従って報告「第8期介護保険事業計画の基本理念と基本目標、基本施策の展開について」、事務局から説明を求める。 |
| 事務局 | 別紙資料に基づき説明する。 |
| 会長 | 質疑等を求める。 |
| 委員 | 前回の運営協議会を欠席したため、今回の資料と前回の資料を突き合わせている思ったが、前回資料P26事業対象者アンケートで、うつ傾向を示す者の割合が34.1%となっている。他市町と比べ、かほく市で |

| | |
|-----|---|
| 事務局 | <p>はうつ傾向にある高齢者が多いということで、これがかほく市の現状である。うつ傾向から社会性がなくなり、フレイル予防の対象者になっていく。こういった具体的な内容をもっと打ち出したらいいと思う。今の原稿は「～します」調だが、もう少し具体的な内容を計画に盛り込んだらいいと思う。また、先程説明で「高齢者支援センター高松支所」、「生活支援コーディネーターの第一層、第二層」を今年度から配置したとあったが、これらの地域ケア会議に生活コーディネーターは参加されているのか。</p> <p>今まで地区の会議に出てもらっていたが、新型コロナウイルス感染症の影響で今は出てもらっていない。今後はまたお願いしたい。</p> |
| 委員 | <p>また、原稿にある「地域ケア個別会議」「ケアプラン」等の用語は、業務に携わっていない人にとっては分かりにくいと思うので、誰にとっても分かりやすいような表記が必要だと思う。</p> |
| 委員 | <p>高齢者福祉の問題がこれからますます深刻になっていく。我々地域社会がどうやって乗り越えていくか。「住民の連携」によって地域で差が出てくる。基本理念にもあるように、地域全体で高齢者を支えていく必要がある。行政だけでは絶対に行っていけない。生活レベルで地域福祉をどう行うか。現在、民生委員には非常に大変な負担がかかっている。そのため、何らかの関心がある人は、様々なところから呼ばれたらいろんな情報をストックし、その方の認定を市でして、あちこちの会合で運動を行えばいいと思う。日頃からの認知症予防を常に啓発してまわる存在があってもいいと思う。地域全体で高齢者を支えていく。それが他の地域との差につながっていくのではないかと。</p> |
| 事務局 | <p>貴重なご意見ありがとうございます。既存の組織として、認知症キャラバンメイト、介護予防サポーター等それぞれ活動しているが、横の連携がうまく取れていないと感じている。もう少し地域との繋がりを持ち、繋がりながら地域全体で支えていく活動支援が行えばいいと思う。また、長寿介護課だけでなく、庁舎内で連携をし、より地域に密着していけたらいいと思っている。</p> |
| 委員 | <p>ぜひお願いします。宇野気にある「本町福祉会」では、いざとなれば民生委員に代わって動いたりして民生委員をサポートする体制が整っ</p> |

| | |
|-----|---|
| 委員 | <p>ている。そのような地区もあることもご承知いただきたい。</p> <p>今までは高松地区の方で、本庁舎まで来れず介護の相談があっても来れなかった人がいたため、今年度から高齢者支援センター高松の委託を受けた。元々ケアマネジャーをしていたことから地域の方の顔を知っている人もいるが、まだまだ高松支所の存在は知られていないと思うので、周知が必要だと考えている。</p> |
| 委員 | <p>事務局の説明で様々な事業を行うと言っていたが、人材の確保はできるのか。施設をつくっても職員の人材確保が難しいのではないかと。処遇改善にも限度があるため、市独自でインセンティブ等をつくらないと難しいのではないかとこの思いがある。</p> |
| 会長 | <p>第8期で施設を増やすのかわかりかねるが、つくった場合運営できるのか、そこも判断してもらいたい。</p> |
| 委員 | <p>8020運動とあるが、80歳で自分の歯が20本以上残っている人は、全国と比べ石川県では半数程度しかいない。そのため、数値データはないが、おそらくかほく市でも半数程度ではないかと思う。急に増やそうと思っても、2～3年で急に増える訳ではないため、もっと若い内から育てていく必要がある。介護事業においても、もっと前の段階から予防事業を少しずつやっていく必要があると思う。長寿介護課だけの話ではないが、他課と連携していけたらいいと思う。</p> |
| 会長 | <p>健康福祉課・生涯学習課・スポーツ文化課等と連携し、小さいころから歯みがき習慣の強化を心掛けていっていただきたい。</p> |
| 委員 | <p>二つ質問がある。一つ目は介護認定者や総合事業者以外の埋もれている方の情報はなかなかあがってこない。市ではどう見つけてどう支援していくのか。二つ目は更新申請のみ行い、サービス利用をしていない人の対応はどうしているのか。他委員の意見にもあったように、他課と横のつながりを持つことはすごくいいなと思う。</p> |
| 事務局 | <p>一つ目については、市としても課題だと思っている。65歳以上の方全員を把握することは不可能だが、焦点を絞って訪問を行っている。例えば、医療保険を利用せず、検診も介護認定も受けていない方は「お達者ですか訪問」対象者として国保連を通じてデータをもらっており、そ</p> |

| | |
|-----|--|
| 委員 | <p>の方々の状況を確認している。毎年上がってくる方は大体同じなので、年に一度は必ず保健師等が訪問している。また、80歳に到達すると敬老年金を支給しているが、申請時にアンケートを記入してもらい、相談・閉じこもり傾向がある人を訪問している。こういった様々な機会を捉えチェックリストを活用することに努めている。民生委員さんからの情報も重要なので、気軽に相談していただけたらと思う。二つ目については、更新のみでサービスを利用していない方が発生しないよう、更新申請時に必ず確認している。</p> <p>資料P3にもあるように、地域との関わりをもちながら生活をするのは大切なので、生きがいつくりの推進を進めていってほしい。老人クラブでは役員が男性ばかりだが、行事にでてくるのは女性ばかり。健康診断に参加するのもほぼ女性で、男性はあまり参加していない。男性も地域との関わりを持てるような取り組みをして頂ければありがたい。また、介護保険の被保険者になった時に介護保険との関わり、負担がどれくらいか等の情報をほとんどの方が全く分からない状態にある。行政のアピール不足だと思うので、実際に介護が必要となったときにケアマネジャーに全て一任するのではなく、介護の被保険者となったスタート時点でいろんな情報を行政が発信していく必要があると思う。</p> |
| 事務局 | 追加資料に関して説明する。 |
| 委員 | <p>医療依存度の高い人をデイサービスで対応できるならいいが、対応ができないためにデイサービス利用できない人が存在している。看多機、ナーシングデイができることで入院ではなく、在宅で過ごせる人が増えるのではないかと思う。そういうことも考えて検討してほしい。</p> |
| 委員 | <p>今、デイサービスのケアマネジャーをしているが、デイサービスの看護師は健康管理のために配置されており、医療処置はできない。そのために医療処置が必要な方のデイサービス利用をお断りすることがあるので、看多機等があればいいという意見もあったらいいと思う。</p> |
| 委員 | 石川県内では他にあるのか。 |
| 事務局 | ナーシングデイは富山にあるが、石川県にはまだない。看多機は県内に8箇所ある。 |

| | |
|-----|---|
| 委員 | デイサービスでも看護師配置は既に行っているのではないか。 |
| 事務局 | 介護療養通所介護として指定を取らないといけないので、本来のデイサービスでは医療処置はできず、健康管理しかできない。 |
| 委員 | もしやろうと思えば行えるのか。 |
| 事務局 | 行えない。 |
| 事務局 | アンケートを行った結果、施設そのものの設備としても、安静に過ごす部屋がなかったり、医療依存度の高い人を送迎する車がないといったアンケート結果が出ている。 |
| 委員 | 新しい施設をつくっても、利用者が増え、本当にうまくいくのか。 |
| 事務局 | ナーシングデイは障害と介護の共生施設であり、入院せず在宅でいられる方がでてくるため、検討していかないといけないと思う。 |
| 委員 | 看多機やナーシングデイが出来ること自体反対している訳ではない。本当に現実的にできるのかが知りたい。 |
| 委員 | もし建設した場合、事業所をみつけ指定を行うのか。 |
| 事務局 | 県・国にも確認したが、通所系サービスという位置付けになる。建設に係る補助は全くでないため、もし事業参入する事業所は建設費は全て自己負担でのスタートとなる。 |
| 委員 | 医療依存度の高い子どもは教育の観点から、ナーシングデイに通所しても特別支援学校等にも通わないといけないので、ナーシングデイの対象者は成人した障害・医療、介護の人になると思う。しかし、実際に利用者がどのサービスを選択するかはまだわからず、補足資料の数値はあくまでアンケートの結果であると思う。 |
| 事務局 | おっしゃる通りで、アンケートの結果通りの数の方すべてが利用されるとは考えておらず、実際には利用者はこの数の半分程になるかもしれないと思っている。 |
| 委員 | 一番心配なのは、施設をつくってもその施設が経営面で成り立つのかということ。看護師やスタッフの確保はできるのか。デイサービスも設立当初は利用者がいなかった。先程、建設費の補助が全くないと言ったが、経営に関してはかほく市からの補助があってもいいのではないかと思う。 |

| | |
|-----|--|
| 事務局 | 貴重なご意見ありがとうございます。市として参考にさせていただきます。 |
| 会長 | 「第8期介護保険事業計画の基本理念と基本目標、基本施策の展開について」を了承してよろしいか確認する。 |
| 全委員 | 異議なし |
| 会長 | 「第8期介護保険事業計画の基本理念と基本目標、基本施策の展開について」を了承する。 |
| | その他について、委員に発言を求める。 |
| 全委員 | なし |
| 会長 | その他について、事務局から説明を求める。 |
| 事務局 | 謝礼金振込みについて説明 |
| | 今後運営協議会予定について説明 |
| 会長 | 本日の日程が終了したことを告げ、かほく市介護保険運営協議会令和2年度第3回会議が閉会することを宣言する。 |

表決した事項及び賛否の数

- (1) 第8期介護保険事業計画の基本理念と基本目標、基本施策の展開について

賛成 出席者全員 否 なし

以上のとおり会議の議事の次第を記録する。